

研究論文一覧

List of Research by IBS Researchers

1 学会などの論文

(査読付)

- 井村祥太郎・中道久美子・萩原剛・中野光太郎 (2024) : COVID-19の状況下におけるエコ通勤のプロモーションや取組実績に関する分析, 「土木学会論文集」
- 秋元伸裕・原田昇・富岡秀虎・森田哲夫 (2023) : 群馬県における世帯間車同乗トリップの現状分析, 「交通工学論文集第9巻第4号 (特集号A)」
- 磯野昂士・石井良治・高橋慧・高宇涵・小出和政・千田亮輔・富岡秀虎・森本章倫 (2023) : 3D都市モデルを活用した個別建築物の建替えと個人の転居行動を考慮した都市構造シミュレータ～宇都宮市におけるLRT導入や立地適正化計画等の施策効果の分析～, 「都市計画論文集」
- 稲原宏・石川岳男・矢田部貴司・近藤和宏・菊池雅彦 (2023) : 都市機能誘導区域における市街地の構造がまちの賑わいに与える分析手法に関する研究 -さいたま市の取組みをもとに人の移動・活動の観点から検討手法を考える-, 「2023年度全国大会 (第58回論文発表会) 都市計画論文」
- 上野優太・矢部努・木本悠太・富樫大輝・福田大輔 (2023) : ETCデータを活用した外環道千葉県区間の開通に伴う沿線居住者等のOD変化に関する分析, 「交通工学研究発表会」
- 石井良治・石神孝裕・石井理・Gao Yuhan・金森亮 (2022) : AIオンデマンド交通のサービス設定に対する高齢者の受容性に関する検討～静岡市における実証実験を対象に～, 「第66回土木計画学秋大会」
- 石川大輝・正木恵・岩倉成志・毛利雄一 (2022) : 広域観光周遊ニーズを顕在化する複数交通モード連携サービス戦略に関する研究, 土木計画学研究・論文集 第39巻 (特集), 2022年77巻5号, pp.l_623-l_633
- 木全淳平・小島浩・西山良孝・廣瀬健・谷亮太・軽部隆征・尾形秀史 (2022) : 山形市における駐車場需給に関する現状と政策課題について, 「アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 第34回技術研究発表会」
- 中道久美子・井村祥太郎・萩原剛・菅原鉄幸 (2022) : エコ通勤の普及促進戦略づくりに向けた認証制度登録要因の現状に関する一考察, 「土木学会論文集F5」
- 中道久美子・片桐暁・井村祥太郎・萩原剛・菅原鉄幸 (2021) : マーケティング概念を援用したエコ通勤のリブランディングとその効果の実践的検証, 「土木学会論文集D3」
- 羽佐田紘之・長谷川大輔・本間裕大・佐野可寸志・大口敬 (2023) : トラベルコストに基づいた施設の価値評価と訪問者の分類の手法, 「土木学会論文集」
- 羽佐田紘之・本間裕大・長橋陽介・岩瀬義和 (2022) : Inverse shortest paths problemによる嗜好の異質性に基づいた立ち寄り観光地の評価手法 - 山形県の位置情報データとそのトラベルコストに着目した分析例 -, 「都市計画論文集」
- 樋野誠一 (2021) : 外部効果がある場合の交通投資の簡易的な便益計測方法, 日本地域学会
- 福本大輔・青野貞康・菊池雅彦・久保田尚 (2023) : 大規模開発に伴う交通影響評価制度に関する日韓比較 ～日本の交通影響評価への知見についての一考察～, 「都市計画論文集」
- 廣川和希・村上巧・西川啓幸・柏木悠・上野優太・北村清州 (2022) : 高速道路利用に影響を及ぼす利用特性等の変化に関する分析, 「第66回土木計画学研究発表会 (秋大会) 論文集」

- 茂木 渉 (2021) : OD逆推定におけるエントロピー最大化モデルのホモトピー法による解法, 「土木学会論文集 D3」, Vol.76, No.5
- 山本卓登・何 功 (2024) : 市町村における地域公共交通政策の財源認識と運用の実態: 市町村アンケートを基に, 「交通学研究」
- Daisuke FUKUMOTO and Masami YOKOTSUKA (2023) : Research regarding formulation of guidelines for underground usage associated with urban development, ACUUS, Singapore.
- Yuhan GAO, Jan-Dirk Schmoecker (2022) : Inferring city-scale tours based on Wi-Fi sensing with aid of a small sample of GPS footprints, "16th International Conference on Travel Behaviour Research" .
- Yuhan GAO, Jan-Dirk Schmoecker (2022) : Inferring travel patterns and the attractiveness of touristic areas based on Fusing Wi-Fi sensing data and GPS traces with a Kyoto case study, "Transportation Research Board Annual Meeting 2023" .
- Yuhan GAO, Hitomi SATO, Seishu KITAMURA, Toshiyuki NAKAMURA, Takayuki MORIKAWA, Tomohiro OTANI (2022) : Measuring willingness to accept new mobilities : evidence from RP-SP data in an aging community of Japan, " 16th International Conference on Travel Behaviour Research" .
- Yuhan GAO (2022) : Understanding pedestrian flow inside building by location-based sensing data with IOHMM, " 第66回土木計画学秋大会" .
- Tomoya KAWASAKI, Yusaku NAMBA, Hideki OKA, Maxim A. DULEBENETS (2023) : Freight trip distribution using spatiotemporal aggregate data : A modified collective flow diffusion model-based approach, "Transportation Research Interdisciplinary Perspectives Volume 21".
- Takayuki KISHII (2023) : Parking areas that support comfort and safety in urban pedestrian environments, "IATSS Research" .
- Takayuki KISHII, Raymond Sterling, Richard S.C. Ting (2023) : Lessons Learned from Underground Shopping Centers in Two Japanese Cities, "18th Conference of the Associated Research Centers for the Urban Underground Space" .
- Yasuhiro NIWA, Kei TAKAHASHI, Kouhei ICHIYANAGI, Masao KIMURA (2021) : Time-Resolved Observation of Phase Transformation in Fe-C System during Cooling via X-ray Absorption Spectroscopy, Materials Transactions, Vol.62, No.2 p.155.

(一般)

- 青野貞康・西山良孝・小島浩・吉田朗・森田哲夫 (2022) : 都市・地域特性と活動・交通パターンの関係に関する基礎的研究—4都市圏のパーソントリップ調査データによる比較分析—, 「土木計画学研究・講演集66」
- 石井儀光・岸井隆幸・他20名 (2021) : 高校地理教育における都市構造可視化の活用についての研究, 「(公財) 日本都市計画学会都市計画報告集」, No.20, 2021年5月, pp.146-153
- 井村祥太郎・中道久美子・萩原剛・水口旺大 (2023) : 事業所におけるCOVID-19禍前後の「エコ通勤」継続状況に関する分析, 「第68回土木計画学研究発表会・秋大会」
- 岡英紀・毛利雄一・塩見康博 (2022) : 指定道路ネットワーク制度が特車通行に及ぼす影響の分析, 「土木計画学研究発表会・秋大会」
- 何 功 (2022) : 公共交通の利便性を高める路線時刻表のあり方と効率的な整備手法に関する研究, 「第65回土木計画学研究発表会」
- 何 功 (2022) : 都市交通の領域における地域公共交通活性化再生政策の課題, 「第66回土木計画学研究発表会」
- 津田哲宏・西鶴誠希・羽佐田紘之・萩原剛 (2022) : 春日井市における地域や居住者の特性に合わせたMM実施計画

の策定, 「第十四回日本モビリティ・マネジメント会議」

- 土田晃久・大森宣暁・長田哲平・青野貞康 (2023) : 宇都宮都市圏における自動車からLRTへの通勤交通手段転換可能性に関する研究, 「土木計画学研究・講演集」
- 羽佐田紘之・水野杏菜・北村清州・金森亮 (2023) : 高蔵寺ニュータウンにおけるAIオンデマンド交通を含む交通手段選択モデルの構築, 「第68回土木計画学研究発表会・講演集」
- 羽佐田紘之・長谷川大輔・本間 裕大 (2022) : 嗜好の異質性を考慮したinverse shortest paths problemによる施設評価, 「都市のORワークショップ2022」
- 牧村和彦 (2022) : コロナ後のモビリティを考える～変わらない景色、変わる景色～、土木計画学会SS : Covid-19とモビリティのマネジメント 「コロナ後の都市・活動を見据えてモビリティを考える」, 「土木計画学会2022年11月13日」
- 牧村和彦 (2022) : 都市交通政策のこれまで、これから、SS11 今一度真面目に都市交通, 「土木計画学会2022年11月13日」
- 水口旺大・益塚真哉・中道久美子・萩原剛・井村祥太郎 (2023) : 「エコ通勤」のさらなる普及に向けたツール類の刷新・統合, 「第十八回日本モビリティ・マネジメント会議」
- 宮木祐任・小松崎諒子 (2023) : 通勤形態の変容を踏まえた都市構造評価指標の再考 産業別の勤務頻度に着目して, 「都市計画報告集」
- 茂木渉 (2023) : OD表推計における現在パターン法の理論と拡張に関する検討, 「2023年度人工知能学会全国大会(第37回)」
- 茂木渉 (2023) : 最短経路探索に基づくマップマッチング手法における複数の観測点の位置情報を用いたリンクコストの開発, 「第68回土木計画学研究発表会」
- Nobuaki OHMORI, Sadayasu AONO (2023) : Investigating Preferences of Commuters' Modal Change When Introducing Light Rail Transit : A Case in Utsunomiya City, Japan, "EASTS2023" .

2 雑誌記事

- 岸井隆幸 (2023) : 緑豊かな街路空間は私たちの広場である, 「都市緑化技術」, No.122, 2023年6月, (公財) 都市緑化機構
- 岸井隆幸 (2023) : 巨大災害への対応: 「連携」の基盤づくり, 「土木学会誌」, Vol.108 No.10, 2023年10月, (公社) 土木学会
- 岸井隆幸・長谷部健・内藤廣・星野浩明 (2023) : 広域渋谷圏が東京をより魅力的にする, 「東京人」, No.475, 2023年1月, 都市出版株式会社
- 岸井隆幸 (2022) : 駅周辺のまちづくり: 旧国鉄資産の開発を中心に, 「運輸と経済」, No.904, 2022年10月, (一財) 交通経済研究所, pp.101-107
- 岸井隆幸 (2022) : 人と水面とまちづくり, 「河川文化」, 99号, 2022年9月, (公社) 日本河川協会, pp.4-7
- 岸井隆幸 (2022) : 2020東京大会後の都市の在り方について-レガシーの先にあるもの-, 「計画行政」, Vol.45 No.3, 2022年8月, (一社) 日本計画行政学会, pp.15-19
- 岸井隆幸 (2022) : 都市の変遷と空間認知の変遷: 東京の過去・現在・未来, 「アイデア」, 401号, 2022年3月, 誠文堂新光社, pp.39-42
- 岸井隆幸 (2022) : 次なる都市再生のために, 「都市と交通」, 126号, 2022年1月, (公社) 日本交通計画協会, p.1
- 岸井隆幸 (2022) : 道路空間の計画設計・管理運営の新展開, 「交通工学」, Vol.57 No.1, 2022年1月, (一社) 交通工学研究会, pp.1-2

- 岸井隆幸 (2022) : Urban Development Centered Around Station, 「Highlighting Japan」, Vol.165, 2022年2月, 内閣府, pp.7-9
- 岸井隆幸 (2022) : 次の時代の「駅まちデザイン」, 「新都市」, Vol.76 No.2, 2022年2月, (公財)都市計画協会, pp.3-6
- 岸井隆幸 (2021) : 君には区画整理の「街」が見えているか, 「区画整理」, Vol.64 No.5, 2021年5月, (公社)街づくり区画整理協会, pp.7-13
- 岸井隆幸 (2021) : 都市の価値と持続可能性を高める・コロナ禍でレガシー修正も, 「日経グローバル」, No.418, 2021年8月, 日本経済新聞社, p.14
- 岸井隆幸 (2021) : 次世代の都市計画論: 「市街地整備2.0」で再始動する都市開発 (インタビュー), 「ACE」, Vol.11 No.8, 2021年8月, (一社)日本建設業連合会, pp.6-9
- 岸井隆幸 (2021) : 東京のまちづくり: その歩みとこれから, 「運輸と経済」, No.894, 2021年12月, (一財)交通経済研究所, pp.35-39
- 岸井隆幸 (2021) : 東日本大震災から10年, 「新都市」, Vol.75 No.3, 2021年3月
- 岸井隆幸 (2021) : 復興区画整理とあらたな「公共」空間, 「区画整理士会報」, No.209, 2021年3月
- 岸井隆幸・井上茂・高松平蔵・野川春夫 (2022) : 身体活動・運動量を高める街づくり (座談会), 「健康づくり」, No.525, 2022年1月, (公財)健康・体力づくり事業財団, pp.2-9
- 岸井隆幸・上野雄一・永谷亜矢子・田川博己・本保芳明 (2021) : エリア連携による国際交流創造都市・東京の実現について (パネルディスカッション), 「国際交流創造都市・東京の実現に向けて」, No.3, 2021年5月, (一財)大都市政策研究機構, pp.39-53
- 岸井隆幸・叶篤彦・伊藤善彦 (2021) : 駅開発と街づくりの現状と展望 (鼎談), 「汎交通」, No.2, 2021年9月, (一社)日本交通協会, pp.2-9
- 岸井隆幸・田中直人 (2021) : 地下空間の昔と今とみらい~利便性・快適性・安全安心を求めて~ (対談), 「建築と社会」, Vol.102 No.1194, 2021年9月, (一社)日本建築協会, pp.10-17
- 島田孝司・兵藤哲朗・岡英紀・津田智之 (2023) : 長距離輸送を担保するトレーラ・シェアリングの新方式, 「交通工学」, Vol.58 No.4, 2023年10月, 交通工学研究会
- 西村巧 (2023) : PIARCスペシャルプロジェクト「スマート道路の区分」 コネクテッド・自動運転の時代に対応する道路インフラ, 「道路」, No.993, 2023年12月, 公益社団法人日本道路協会
- 福本大輔 (2023) : バルセロナにおけるスマートシティに関する取組み, 「区画整理」, 66巻11号, 2023年11月, 公益社団法人街づくり区画整理協会
- 牧村和彦 (2024) : 海外におけるモビリティ・ハブ事例と日本への導入に向けて, 特集 公共交通とまちづくり, 新都市2024年3月号
- 牧村和彦 (2023) : 街全域「最高時速30km」が世界の新標準? 環境・安全を両立する交通政策をご存じか, メルクマール, 2023年4月3日
- 牧村和彦 (2023) : 「カーフリー五輪」打ち出すロサンゼルス 全米でMaaSに巨額投資, 日経クロストrend, 2023年4月19日
- 牧村和彦 (2023) : 通学路にクルマはいらない? パリの180か所が「歩行者専用」化で親子安心, 日本の一歩先を行く政策とは, メルクマール, 2023年5月12日
- 牧村和彦 (2023) : 「究極のMaaS」 月7400円で公共交通が乗り放題, 通勤定期も優遇, 日経クロストrend, 2023年5月18日
- 牧村和彦 (2023) : クルマから街を取り戻す! 事故とは無縁で, 平和な新概念「ビルアペゼ」をご存じか, メルクマール, 2023年6月5日
- 牧村和彦 (2023) : 2年半で死傷者1400人 英国の電動キックボード「事故リポート」から, 日本が真剣に学ぶべき

こととは、メルクマール、2023年6月21日

牧村和彦 (2023) : カーゴバイクは現代の「エコ軽トラ」 脱炭素時代の主役に急浮上, 日経クロストレンド, 2023年6月21日

牧村和彦 (2023) : カーゴバイクは現代の「エコ軽トラ」 脱炭素時代の主役, 日経新聞電子版, 2023年7月8日

牧村和彦 (2023) : ガソリン車は中心街を走れなくなる? 欧州進む規制, どうする日本, 日経クロストレンド, 2023年7月19日

牧村和彦 (2023) : 3連節バス「日本に合わない」は大間違い! 世界各地で大流行する納得の理由とは, メルクマール, 2023年8月6日

牧村和彦 (2023) : インタビュー, モビリティ革命をもたらす「小さい交通」とは(前編), Grasp, 2023年8月8日公開

牧村和彦 (2023) : インタビュー, 移動手段の変化により, 街はビジネスはどう変わる?, Grasp, 2023年8月10日公開

牧村和彦 (2023) : 電動キックボードが都市交通に与える影響は? ロンドンの利用実態, 日経クロストレンド, 2023年8月23日

牧村和彦 (2023) : インタビュー, 北陸鉄道石川線 存続へ 背景に2024年問題 バス転換(BRT)見送り, NHK, 2023年8月30日

牧村和彦 (2023) : インタビュー, 深刻 タクシー不足 都市部も地方も, NHKビジネス特集, 2023年9月8日

牧村和彦 (2023) : インタビュー, タクシー運転手 4年で2割減 コロナや高齢化による離職が背景に, NHK, 2023年9月9日

牧村和彦 (2023) : 日本で不人気「ご当地MaaS」 世界では逆にブームになっているワケ, メルクマール, 2023年9月11日

牧村和彦 (2023) : 電動キックボードが都市交通に与える影響 英国の実態, 日経新聞電子版, 2023年9月11日

牧村和彦 (2023) : MaaSでまちづくり変えた「ブリュッセルの奇跡」 何をしたのか, 日経クロストレンド, 2023年9月22日

牧村和彦 (2023) : 「ライドシェア解禁」議論白熱も そもそも欧米・中国企業に勝ち目あるのか, という根本疑問, メルクマール, 2023年9月23日

牧村和彦 (2023) : インタビュー, 【特集2】「Beyond MaaS」の新しいモビリティ社会へ, MM Report, 2023年9月号 No.327

牧村和彦 (2023) : MaaSでまちづくり変えた「ブリュッセルの奇跡」, 日経新聞電子版, 2023年10月11日

牧村和彦 (2023) : 駐車場空間の見直し必須 自動運転, ライドシェアが変える都市の姿, 日経クロストレンド, 2023年10月17日

牧村和彦 (2023) : 「ライドシェア解禁」はフランスから学べ 成長著しい背景には“ボーナス制度”があった!, メルクマール, 2023年10月23日

牧村和彦 (2023) : 自動運転が変える都市の姿 駐車場空間の見直し必須, 日経新聞電子版, 2023年11月6日

牧村和彦 (2023) : インタビュー, 外国人ドライバーも! タクシー運転手不足なぜ? 対策は 詳しく, NHKこどもニュース, 2023年11月8日

牧村和彦 (2023) : パリ五輪目前の交通大改革 クルマの交通量45%減, 何を变えたのか, 日経クロストレンド, 2023年11月19日

牧村和彦 (2023) : 巻頭特集「<<ライドシェア>> 幸せの量産をもたらす魔法の杖か その課題と提言」, 「政経週報」2023年12月4日号

牧村和彦 (2023) : 新宿バスタ2倍以上の駐停車スペース! サンフランシスコに突如現れた巨大「バスターミナル」をご存じか, メルクマール, 2023年12月16日

- 牧村和彦 (2023) : ドイツの「MaaS先進都市」最新現地レポート 日本と何が違うのか, 日経クロストレンド, 2023年12月18日
- 牧村和彦 (2023) : 幸せを量産するMaaSの展望, 国づくりと研修特集これからの道路のあり方, 2023年12月
- 牧村和彦 (2023) : ドイツ「MaaS先進都市」現地レポート 日本との違いは, 日経新聞電子版, 2024年1月15日
- 牧村和彦 (2023) : 新種MaaSが続々誕生 新たなキーワードは「寄り道」である, メルクマール, 2024年2月2日
- 牧村和彦 (2023) : 自転車&電動キックボードシェアリング普及の鍵は? 北米レポート, 日経クロストレンド, 2024年2月8日
- 牧村和彦 (2023) : 「メガSUVブーム」欧州で大問題に! 車両の大型化で死亡リスク30%増の報告, パリではSUV規制を問う住民投票も, メルクマール, 2024年2月19日
- 牧村和彦 (2023) : なぜ今さら「ライドシェア」? 世界とあまりにも違う日本の非常識, 日経クロストレンド, 2024年2月29日
- 牧村和彦 (2023) : なぜ今さら「ライドシェア」? 世界と違う日本の非常識, 日経新聞電子版, 2024年3月20日
- 牧村和彦 (2023) : テスラが大衆車に? 無人のクルマに何度も遭遇、米MaaS最新ルポ, 「日経クロストレンド」, 2023年1月
- 牧村和彦 (2023) : フランスの自動車広告がなぜか「徒歩」「自転車」「公共交通」を熱心に勧めるワケ, 「メルクマール」, 2023年2月
- 牧村和彦 (2023) : 道路は誰のもの? 歩行者優先、オープンレストラン出店、NYの今, 「日経クロストレンド」, 2023年2月
- 牧村和彦 (2023) : 「人間は交通事故を必ず起こす」こんな失敗前提に立った最先端の安全対策「ビジョンゼロ」をご存じか, 「メルクマール」, 2023年2月
- 牧村和彦 (2023) : トヨタもびあも「スポーツ×MaaS」参戦 狙いは地域経済への波及, 「日経クロストレンド」, 2023年3月
- 牧村和彦 (2022) : 脱「100m先も車移動」地方の課題を解決する「モビリティハブ」とは, 「メルクマール」, 2022年1月20日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2022) : 「Miles」より先進的? エコな移動を促す中国「グリーンMaaS」, 「日経クロストレンド」, 2022年1月27日, 日経BP
- 牧村和彦 (2022) : 自動車大国の米国、MaaSで「鉄道復権」マイカーフリー社会へ, 「日経クロストレンド」, 2022年2月25日, 日経BP
- 牧村和彦 (2022) : 日本は世界の“2周遅れ”? モビリティ分野における「官民データ連携」の本質とは, 「メルクマール」, 2022年3月7日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2022) : 世界で進む公共交通「運賃ゼロ革命」環境配慮と移動喚起を両立, 「日経クロストレンド」, 2022年3月15日, 日経BP
- 牧村和彦 (2022) : マイカー処分で「最大12万円」のボーナス! 気候危機に取り組むベルギーの奇策とは, 「メルクマール」, 2022年3月30日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2022) : MaaSが街を変える、戦略フォーサイト、連載 (1) ~ (15) , 「日経産業新聞」, 2022年3月9日~3月29日, 日経産業新聞
- 牧村和彦 (2022) : 「MaaSは儲からない」の嘘 ベンツとBMWが見つんだ答えとは?, 「日経クロストレンド」, 2022年4月
- 牧村和彦 (2022) : 公共交通は誰のものか? 議論のヒマ無し、官民連携「競争から共創」急げ, 「メルクマール」, 2022年5月11日
- 牧村和彦 (2022) : 米UberはMaaSのお手本? レストランと移動をセットで予約可能に, 「日経クロストレンド」, 2022年5月

- 牧村和彦 (2022) : フォルクスワーゲンが狙う「乗り合い交通」市場 ドイツで急伸, 「日経クロストレンド」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : ドイツの先進MaaS 移動ルートに応じて最安値運賃を自動精算, 「日経クロストレンド」, 2022年7月
- 牧村和彦 (2022) : 「マイクロモビリティ」普及のカギは? 欧州で先行、MaaSと融合, 「日経クロストレンド」, 2022年8月
- 牧村和彦 (2022) : 2割の利用者がマイカー移動から転換 北米マイクロモビリティ調査, 「日経クロストレンド」, 2022年9月
- 牧村和彦 (2022) : 公共交通が激安乗り放題 ドイツ“移動リハビリ大作戦”の成果は?, 「日経クロストレンド」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ新時代の交通まちづくり, 「月刊不動産流通」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ新時代の最新動向と社会ビジネスの未来予測, 「研究開発リーダー」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : 米マイクロモビリティ調査 2割がマイカーから転換, 「日本経済新聞電子版」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : パリ市街も激変! 世界初「MaaS法」から3年、フランス現地調査, 「日経クロストレンド」, 2022年11月
- 牧村和彦 (2022) : 生活者の移動を革新するマイクロモビリティ。都市を活性化させ、地域経済を潤す, 「ベイ」, 2022年11月
- 牧村和彦 (2022) : 世界初「MaaS基本法」から3年 フランス現地調査報告, 「日本経済新聞電子版」, 2022年12月
- 牧村和彦 (2021) : 移動革命とMaaS (上), 「共済と保険」, 2021年5月号, 日本共済協会
- 牧村和彦 (2021) : 移動革命とMaaS (下), 「共済と保険」, 2021年6月号, 日本共済協会
- 牧村和彦 (2021) : モビリティ新時代の政策・計画論の海外動向, 特集「モビリティ新時代がもたらす都市の未来」, 「雑誌都市計画」, 2021年10月号, 都市計画学会
- 牧村和彦 (2021) : パリからクルマが消えた!? withコロナの移動復活の鍵とは, 特集アフターワークチンの移動革命第3回, 「日経クロストレンド」, 2021年10月4日, 日経BP
- 牧村和彦 (2021) : 衝撃の「マイカーゼロ都市」計画 先進都市は駐車場削減へ向かう、特集アフターワークチンの移動革命第4回, 「日経クロストレンド」, 2021年10月5日, 日経BP
- 牧村和彦 (2021) : グーグルがまちづくりに進出 「人間中心のスマートシティ」構想を紐解く, 「メルクマール」, 2021年11月20日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2021) : 世界は駅⇒駅からドアトゥドアの移動サービスへ、プラットフォーム通信, 「未来構想プラットフォーム」, 2021年11月22日
- 牧村和彦 (2021) : 移動×都市DXの最前線～モビリティハブが都市の価値を変える、特集24都市のイノベーションは可能か?, 「建築雑誌」, 2021年12月号, 日本建築学会
- 牧村和彦 (2021) : MaaSを始める自治体の方へ 自分の街の現実を知ることから始めよう, 「メルクマール」, 2021年12月27日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 森地茂・岸井隆幸・喜勢陽一・内田まほろ (2022) : 鉄道開業150周年セミナー～文明開化・技術革新の先駆者たる鉄道と発展する都市の歴史と未来～, 「運輸と経済」, No.906, 2022年12月, (一財)交通経済研究所, pp.125-134

3 講演などの発表

- 何功（2024）：都市交通政策の復権を求めて～活性化再生法時代をいま振り返る～，「第16回全国路面電車サミット 宇都宮」，全国路面電車サミット2024宇都宮実行委員会，2024年1月28日
- 何功（2024）：地域公共交通活性化再生行政の事業評価制度の性格に関する一考察，「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会in上田」，「第11回 人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 上田」実行委員会，2024年3月17日
- 何功（2023）：生存権保障の一手段としての公共交通—政策のあり方を実務現場から考える—，「ナショナルミニマム不在の医療・交通 ～これからの生活保障に向けて～」，日本プライマリ・ケア連合学会学生・研修医部会中四国支部島根大学鉄道研究会中国地方学生鉄道連盟，2023年2月26日
- 何功（2023）：都市交通政策における地域公共交通計画の策定・運用の現状と課題，「生活様式の変化を考慮した脱炭素社会の都市交通政策評価研究プロジェクト」，公益社団法人日本交通政策研究会，2023年3月15日
- 何功（2023）：いくつかの地域での実践を踏まえた本提案の評価，「土木計画学ワンデイセミナー 「地域公共交通プライシングの新提案 —運賃設定にまつわる固定観念を越えて—」」，土木計画学研究委員会 公共交通プライシング研究小委員会，2023年3月16日
- 岸井隆幸（2024）：上野地区まちづくりビジョンとこれからのまちづくり，「上野地区まちづくりビジョンシンポジウム」，台東区役所，2024年2月5日
- 岸井隆幸（2024）：一巡した暦の先にあるもの，「土木学会関東支部創立60周年記念式典」，土木学会関東支部，2024年3月18日
- 岸井隆幸（2023）：ナビゲーター，「明日を守るナビ：エリア防災生まれ変わる街の機能を知ろう！」，NHK，2023年5月11日
- 岸井隆幸（2023）：プロジェクトから見る次の「駅とまち」の関係，「鉄道運輸機構講演会」，鉄道運輸機構，2023年6月16日
- 岸井隆幸（2023）：司会，「日本老年学会年次総会シンポジウム」，日本老年学会，2023年6月17日
- 岸井隆幸（2023）：「新東京水辺百景へ」未来のTOKYOに向けた水辺の整備・活用，「東京の河川を考えるシンポジウム2023」，東京都，2023年7月25日
- 岸井隆幸（2023）：MM21の50年とまちづくりの変化，「インフラ整備70年：戦後の代表的な100プロジェクト」，建設コンサルタンツ協会，2023年8月21日
- 岸井隆幸（2023）：TOD Master Plan & TOKYO'S Recipe，「JICAインドプロジェクト講演会」，JICA，2023年8月28日
- 岸井隆幸（2023）：TODM in TOKYO & TOKYO'S Recipe，「JICAタンザニアプロジェクト講演会」，JICA，2023年9月8日
- 岸井隆幸（2023）：スポーツと街づくり，「スポーツ立国推進塾」，日本スポーツ政策推進機構，2023年9月26日
- 岸井隆幸（2023）：コメンテーター，「日曜美術館「建築家・内藤廣～渋谷駅・世界一複雑な都市計画を率いる男～」」，NHK，2023年10月23日
- 岸井隆幸（2023）：コメンテーター，「漫画家イエナガの複雑社会を超定義：渋谷再開」，NHK，2023年10月27日
- 岸井隆幸（2023）：Shibuya Project in the History of TOKYO Urban Development，「ASEAN諸国政府職員に対する建設産業政策プログラム」，国土交通省，2023年10月27日
- 岸井隆幸（2023）：Lessons learned from Underground Shopping Centers in two Japanese Cities，「18th Conference of ACUUS」，ACUUS，2023年11月2日
- 岸井隆幸（2023）：パネラー，「リニア中間4駅による広域中核地方圏の創造と国土構造の改編～日本をエンパワー

- メントする～」，リニア中間駅（4駅）を中心とする地域活性化に関する検討委員会，2023年11月6日
- 岸井隆幸（2023）：主要ターミナル駅のまちづくりと大宮GCS化構想，「さいたま市議会GCS特別委員会」，さいたま市議会，2023年12月20日
- 岸井隆幸（2022）：駅まち空間の形成，「JUDI講演会」，都市環境デザイン会議，2022年3月1日（オンライン）
- 岸井隆幸（2022）：横浜市の今後のまちづくり，「都市政策委員会」，横浜商工会議所，2022年4月27日
- 岸井隆幸（2022）：スマートシティの課題と可能性，「あらためて問うサステナブル都市論」，日本建築学会地球環境委員会，2022年9月7日
- 岸井隆幸（2022）：鉄道開業・これまでの東京・将来のTOKYO，「鉄道開業150年記念セミナー：文明開化・技術革新の先駆者たる鉄道と発展する都市の歴史と未来」，一般財団法人運輸総合研究所、東日本旅客鉄道株式会社，2022年9月21日
- 岸井隆幸（2022）：“ポストコロナ社会に対応したまちづくり（パネルディスカッションコーディネーター）”，「区画整理と街づくりフォーラム2022」，区画整理と街づくりフォーラム2022実行委員会，2022年11月1日
- 岸井隆幸（2022）：基地跡地利用と沖縄振興，「第66回土木計画学研究発表会沖縄復帰50年スペシャルセッション」，土木学会土木計画学研究委員会，2022年11月12日
- 岸井隆幸（2022）：「これから」への責任～我々はどうのように新生100年を導くのか，「第43回都市みらい・地下研・UIT合同講演会」，（一財）都市みらい推進機構，2022年12月16日
- 岸井隆幸（2022）：鉄道と街と駅，「大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会令和4年度大会」，大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会，2022年12月21日
- 岸井隆幸（2022）：新宿の都市再生，「まちづくり懇話会」，（一社）大丸有まちづくり協議会，2022年12月22日
- 岸井隆幸（2021）：まちと鉄道の新しい関係，「横浜市営地下鉄3号線延伸早期完成期成同盟会総会講演会」，横浜市営地下鉄延伸早期完成期成同盟会，2021年4月20日，新百合トウェンティワンホール
- 岸井隆幸（パネルディスカッションパネラー）（2021）：エリア連携による国際交流創造都市・東京の実現について，「第3回都心サミット「国際交流創造都市・東京の実現に向けて」東京交流創造ネットワーク協議会設立記念シンポジウム」，東京交流創造ネットワーク協議会，2021年5月12日，東京商工会議所渋谷ホール
- 岸井隆幸（2021）：東日本大震災 復興この10年を振り返る，連続シンポジウム基調講演，（公社）土木学会，2021年5月26日，（公社）土木学会ホール
- 岸井隆幸（2021）：東京まちづくりの潮流：これまでとこれから，東京都メディアセンタートーク，東京都，2021年7月27日，東京都庁
- 岸井隆幸（2021）：東京2030と都市計画のこれから，日経バリューリサーチフォーラム：東京・丸の内から見えるTOKYOの進化，日本経済新聞社，2021年9月13日，TOKYO TORCH常盤橋タワー
- 岸井隆幸（2021）：新宿はこれからどうなる，新宿グランドターミナルの再編，西新宿LoveWalker，2021年10月29日（オンライン）
- 津田哲宏・加藤大樹・羽佐田紘之・水野杏菜・木全淳平・谷亮太・萩原剛（2023）：ロードマップに基づいた高齢者MMの実践と検証 - クルマ社会においてバスの利便性を失わないために - ，「第18回日本モビリティ・マネジメント会議」，（一社）日本モビリティ・マネジメント会議，2023年9月23日
- 萩原剛（2023）：モビリティ・マネジメントとモビリティサービス（MaaS） ，「令和5年度研修「道路整備施策」」 ，一般財団法人全国建設研修センター，2023年7月5日
- 萩原剛（2022）：モビリティ・マネジメントとモビリティサービス（MaaS） ，「令和4年度研修「道路整備施策」」 ，一般財団法人全国建設研修センター，2022年6月15日
- 萩原剛（2021）：モビリティ・マネジメントとモビリティサービス（MaaS） ，「令和3年度研修「道路整備施策」」 ，一般財団法人全国建設研修センター，2021年6月16日
- 萩原剛（2021）：事例紹介 ビッグデータを活用した安全対策の取り組み，「令和3年度研修「市町村道」」 ，一般

- 財団法人全国建設研修センター, 2021年10月7日
- 羽佐田紘之・長谷川大輔・本間裕大 (2021) : 道の駅の魅力度を定量化するための立ち寄りコスト推定モデルの構築, 「第64回土木計画学研究発表会」, 土木学会土木計画学研究委員会, 2021年12月5日
- 福本大輔 (2024) : 今後のウォークアブル空間創出の流れにおける駐車場の整備・活用の方向性, 「仙台駐車協会春季研修会」, 仙台駐車協会, 2024年2月16日
- 牧村和彦 (2024) : NHK 駅の「時刻表」集約やウェブサイトへの案内の動き広がる, 2024年2月19日
- 牧村和彦 (2024) : NHK首都圏ナビ 西武鉄道など駅ホームの「時刻表」撤去の動き ウェブサイトでの案内広がる…その背景は?, 2024年2月21日
- 牧村和彦 (2023) : NHK金沢 北陸鉄道石川線 存続へ 背景に2024年問題 バス転換 (BRT) 見送り, 2023年8月30日
- 牧村和彦 (2023) : パネルディスカッション, ゆっくりを軸とした地区づくりのための交通・道路・都市のあり方を考える「人と多様なモビリティが共生する安全で心ときめくまちづくり調査」, 2023年5月12日
- 牧村和彦 (2023) : スマートシティ時代のスマートモビリティ戦略, 愛知県ITS推進協議会「ITSあいち県民フォーラム2023」, 2023年5月16日
- 牧村和彦 (2023) : 官民連携によるモビリティのリ・デザイン, 福岡県MaaS実行委員会, 2023年5月17日
- 牧村和彦 (2023) : バブルは本当にはじけたのか, モビリティピッチ, 2023年5月19日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命が都市を変える, 日本ナレッジセンター, 2023年5月26日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS, 関東地方整備局モーダルコネクト研修, 2023年5月29日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS (マース), 筑波大学社会基礎学 I 第4回, 2023年6月17日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティからモビリティ社会へ〜クロスイノベーションによる新たな価値創造〜, 大阪商工会議所次世代テックフォーラム, 2023年7月13日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命の最新動向, 神戸大学社会基礎学, 2023年7月15日
- 牧村和彦 (2023) : Beyond MaaS時代の高速道路とマネジメント, NEXCO東日本, 2023年7月19日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS (マース), 日本大学, 2023年7月21日
- 牧村和彦 (2023) : MaaSの最新動向と今後の展望〜モビリティ戦略とMaaS計画作法〜, ふじMaaS推進協議会設立祈念セミナー, 2023年7月25日
- 牧村和彦 (2023) : NHKビジネス特集 深刻タクシー不足都市部も地方も…, 2023年9月2日
- 牧村和彦 (2023) : NHK タクシー運転手4年で2割減 コロナや高齢化による離職が背景に, 2023年9月9日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ戦略の新潮流, 大阪商工会議所第1回クラスター会議, 2023年9月12日
- 牧村和彦 (2023) : 市民・地域が必要とする地域公共交通とモビリティ・マネジメント, 金沢市議会地域交通特別委員会, 2023年10月6日
- 牧村和彦 (2023) : 本音でMaaS〜バブルは本当にはじけたのか〜, IATSSサロン, 2023年10月12日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティイノベーションの最前線, 筑波大学モビリティイノベーションの社会応用, 2023年10月24日
- 牧村和彦 (2023) : MaaS (マース) と交通まちづくり, 全国研修センター交通まちづくり, 2023年11月2日
- 牧村和彦 (2023) : MaaS (マース) と交通まちづくり, 岐阜県MaaSセミナー, 2023年11月6日
- 牧村和彦 (2023) : NHKオトナも気になることもニュース, 外国人ドライバーも! タクシー運転手不足なぜ? 対策は詳しく, 2023年11月8日
- 牧村和彦 (2023) : 都市交通政策の先進動向〜都市×移動DXの最前線から学ぶ〜, 東京大学スマートシティスクール, 2023年11月18日
- 牧村和彦 (2023) : カーボンニュートラルに向けたモビリティ社会が生み出す新たな価値創造, 機器・部品メーカー懇談会, 2023年11月22日

- 牧村和彦 (2023) : MaaS (マース) と交通まちづくり, 福岡県研修事業, 2023年11月24日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティハブへの期待, リガーレセミナー次世代の交通・まちづくりを担う「モビリティハブ」とは? ~産官学連携によるモビリティ革命~, 2023年11月30日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命とMaaS (マース) ~世界で起きている潮流を知る~, 山形大学ツーリズム産業論, 2023年12月1日
- 牧村和彦 (2023) : ヒューマンファクターと都市交通, 自技会 これからのドライバヒューマンファクターを考える, 2023年12月12日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティの未来とまち, 都市みらい第45回合同講演会, 2023年12月13日
- 牧村和彦 (2023) : テレビ東京NIKKEI NEWS プラス, 今夜のプラス9 ライドシェア解禁のキーマン, 小泉議員を直撃, 2023年12月15日
- 牧村和彦 (2023) : 生活交通×デザイン~MaaSが都市(まち)を変えうるか~, COMO×GOMO 勉強会, 2023年12月16日
- 牧村和彦 (2023) : 寄り道MaaS, 大阪経済産業局MICE×MaaS委員会, 2023年12月18日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命と駐車政策, 全日本駐車協会, 令和5年新春セミナー, 2月
- 牧村和彦 (2023) : 自動運転から自動運転社会へ, 近畿経済産業局, スマートモビリティチャレンジシンポジウム, 2月
- 牧村和彦 (2023) : MaaSの最新動向と今後の展望, 地域MaaS社会実装シンポジウム, 関東経済産業局, 3月
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命と交通リ・デザイン, 中部経済連合会第2回産業・技術委員会, 3月
- 牧村和彦 (2022) : 今さら聞けないCASE、MaaS, 「道路セミナー「モビリティ革命の進展」」, 日本道路協会, 2022年2月15日
- 牧村和彦 (2022) : カーボンフリー時代の交通戦略, 「スマートモビリティシンポジウム」, 中部経済産業局, 2022年2月18日
- 牧村和彦 (2022) : MaaSと交通まちづくり~地方のモビリティ戦略, 「これからの公共交通・公共空間のあり方について考えるセミナー」, 奈良県, 2022年2月22日
- 牧村和彦 (2022) : モビリティサービスの動向と展望, 「国土交通省基本政策部会」, 国土交通省, 2022年3月18日
- 牧村和彦 (2022) : 「スマートシティ時代のモビリティデザイン~スマートシティ×データ×モビリティ~」, 「群馬大学次世代モビリティオープンイノベーション協議会第17回要素技術開発研究会」, 2022年4月
- 牧村和彦 (2022) : 都市交通政策の先進動向~都市×移動DXの最前線から学ぶ~, 「東京大学スマートシティスクール」, 2022年5月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「関東地方整備局モーダルコネクタ研修」, 2022年5月
- 牧村和彦 (2022) : カーボンニュートラル時代のモビリティ戦略, 「日本ナレッジセンター」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命が都市を変える~移動×都市DXの最前線~, 「EVアカデミー夏」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「筑波大学社会基礎学 I」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「金沢大学」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「日本大学交通情報工学「特別講義」」, 2022年7月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「神戸大学 社会基礎学」, 2022年7月
- 牧村和彦 (2022) : カーボンニュートラル時代のスマートモビリティ社会と技術開発, 「社会資本審議会・交通政策審議会技術分科会第29回技術部会」, 2022年8月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とアーバンストリート, 日本建築学会 研究懇談会「ウォークブルシティに向けたアーバンストリートの統合デザイン」, 2022年9月
- 牧村和彦 (2022) : 持続可能なスマートモビリティ社会に向けて~九州のモビリティ戦略~, 九州MaaSシンポジウ

ム、2022年9月

牧村和彦（2022）：脱炭素社会を目指した交通戦略～都市×移動DXの最前線～，北海道MaaS推進セミナー，2022年10月

牧村和彦（2022）：MaaS（マース）と交通まちづくり，国土交通大学校令和4年度研修 交通まちづくり，2022年11月

牧村和彦（2022）：脱炭素社会を目指した都市交通戦略～新モビリティ時代における行政の役割と期待～，第18回総合都市交通計画研修，2022年11月

牧村和彦（2022）：都市交通政策の先進動向～都市×移動DXの最前線から学ぶ～，東京大学スマートシティスクール，2022年12月

牧村和彦（2022）：モビリティ革命とMaaS（マース）～世界で起きている潮流を知る～，山形大学ツーリズム産業論，2022年12月

牧村和彦（2022）：カーボンニュートラル時代のMaaS戦略～都市×移動DXの最前線～，中部マーケティング協会 デジタルイノベーション部会，2022年12月

牧村和彦（2022）：MaaSと公共交通のデジタルトランスフォーメーション，鉄道技術連合シンポジウム～パンデミックは大都市圏にとってチャンスなのか？，2022年12月

牧村和彦（2021）：移動革命と都市デザイン，「内閣府地方創生事務局 都市再生有識者懇談会」，内閣府地方創生事務局，2021年4月16日

牧村和彦（2021）：モビリティ革命とMaaS，「令和3年度実践研修モータルコネクト計画」，関東地方整備局，2021年6月18日

牧村和彦（2021）：基調講演「カーボンニュートラル時代の交通まちづくり」，「人とクルマのテクノロジー展」，自動車技術会，2021年7月

牧村和彦（2021）：MaaS時代の交通まちづくり，「「2021年度駅まち未来構想研修」有識者講演会（第3回）」，未来構想PF，2021年7月15日

牧村和彦（2021）：MaaSとコミュニケーション，「セミナー「モビリティ・マネジメント×MaaS：最強タッグで人々の行動が変わる」」，運輸総合研究所，2021年8月31日

牧村和彦（2021）：MaaSが都市を変える，「社会的要請に応じた政策立案とその実装に向けた研究交流分科会」，認定都市プランナー，2021年9月13日

牧村和彦（2021）：MaaSがなんばを変える，「難波エリアの都市格を公民協働で高めるまちづくり懇談会」，2021年10月13日

牧村和彦（2021）：モビリティ革命とMaaS，「ITS専門委員会 成果報告会・勉強会」，建設コンサルタンツ協会，2021年10月19日

牧村和彦（2021）：カーボンニュートラル時代のモビリティ戦略，「CEATEC 2021 ONLINE コンファレンス」，2021年10月19日～10月22日

牧村和彦（2021）：講演「モビリティ革命と交通まちづくり」，「令和3年度愛媛県地域公共交通活性化セミナー」，愛媛県，2021年10月25日

牧村和彦（2021）：MaaSと交通まちづくり，「令和3年度研修 交通まちづくり」，国土交通大学校，2021年11月12日

牧村和彦（2021）：カーボンニュートラル時代の交通まちづくり，「2021年度中部委員会（秋季）」，日本プロジェクト産業協議会（JAPIC），2021年11月25日

牧村和彦（2021）：基調講演：MaaSと交通まちづくり，「熊本版MaaSのミライシンポジウム」，熊本県，2021年12月13日

牧村和彦（2021）：MaaSと交通まちづくり，「令和3年度第1回MaaS研究会セミナー」，鳥取県，2021年12月21日

日

- 牧村和彦・森尾淳（2023）：国土・都市・交通の分野におけるGIS・地理空間情報等の活用状況，国土交通省今後の国土数値情報のあり方に関する検討会，2023年11月17日
- Hiroyuki HASADA（2023）：Panel Discussion：“Open Science and Connecting Communities, Cross disciplinary Collaboration”, Discover the "Pathways to the Future" NSF Workshop, Arizona State University, October 15th, 2023.
- Hiroyuki HASADA, Daisuke HASEGAWA, Yudai HONMA（2023）：An Optimization Method for Evaluating Facilities with Inaccessible Locations through Inverse Shortest Paths Problem, “International Symposium on Locational Decisions (ISOLDE)” XVI.
- Hiroyuki HASADA, Yudai HONMA, Takashi OGUCHI（2023）：An Inverse Shortest Paths Problem Model for Evaluating Urban Facilities Using Visit Data, “INFORMS Annual Meeting 2023”, INFORMS, October 17th, 2023.
- Hiroyuki HASADA, Yudai HONMA, and Daisuke HASEGAWA（2022）：Outlier Paths Detection in Driving Scenarios Based on Inverse Shortest Path Problem Model, “Transportation Research Board 101st Annual Meeting (TRB 2022)”, Transportation Research Board, January 11th, 2022.
- Takayuki KISHII（2021）：Climate Change Risk and Underground Space in Japan, “Shanghai Summit on Global Urban Underground Space Development and Utilization”, 国連ハビタット（居住環境会議）・ACUUS（国際地下空間研究機構連合）・上海科学技術委員会・上海都市研究機構, 2021年10月31日（オンライン）.
- Takumi NISHIMURA（2023）：Road statistics and databook in Japan, “XXVIIth World Road Congress”, PIARC, October 5th, 2023.

4 書籍などの執筆

- 奥村誠・岸井隆幸・中井検裕・柄谷友香（2023）：土木の復興、今後に生かす東日本大震災復興の反省点—構想・計画・実施の各局面-（座談会），「復興を描く」，土木学会誌編集委員会，（公社）土木学会
- 岸井隆幸（分担執筆）（2022）：第2章 0-2 土地区画整理事業制度による市街地の面的整備，「日本インフラの「技」—原点と未来-」，土木学会誌編集委員会，土木学会
- 岸井隆幸（分担執筆）（2022）：コラム：前へ進め，「東日本大震災からの復興：未来へ継承するまちづくり」，石巻市復興事業部，石巻市
- 岸井隆幸・中井祐・吉武成寛・富沢竜太・山田得真・豊田弘茂・ドアンレアイゴック・竹内誠・武山良三（共著）（2021）：100年に一度の再開発で実現する、駅と街をつなぐ「サインシステム」，「年鑑日本の空間デザイン2021」，空間デザイン機構：年鑑日本の空間デザイン刊行委員会，六耀社
- 岸井隆幸（共著）（2021）：第4章第一節 市街地開発事業と都市計画，「都市計画の構造転換：整・開・保からマネジメントまで」，（公社）日本都市計画学会，鹿島出版会
- 中村文彦・外山友里絵・牧村和彦（分担執筆）（2022）：「図解ポケット 新時代の移動革命MaaSがよくわかる本」，秀和システムズ
- 牧村和彦（共著）（2022）：モビリティ・イノベーションの社会的受容～技術から人へ、人から技術へ，北王路書房
- 牧村和彦（共著）（2022）：図解ポケット新時代の移動革命MaaSがよくわかる本，秀和システム
- 牧村和彦（分担執筆）（2022）：第6章 日本社会におけるMaaSの未来，「モビリティ・イノベーションの社会的受容～技術から人へ、人から技術へ」，上出寛子（編者），北王路書房
- 牧村和彦（2021）：「MaaSが都市を変える～移動×都市のDX最前線」，学芸出版社

- 牧村和彦・石神孝裕・絹田裕一・宮木祐任・何功（共著）（2022）：ウェルビーイングを実現するスマートモビリティ 事例で読みとく地域課題の解決策, 石田 東生・宿利 正史（編著）, 学芸出版社
- Takumi NISHIMURA（分担執筆）（2023）：Analysis of Collected Data in Collaboration with Some Official Statistics, PIARC DataBook of Road and Road Transport 2020-2023, PIARC.
- Takumi NISHIMURA（分担執筆）（2023）：Case Study Results, Multimodal Solutions for Optimizing Road Networks in Urban and Peri-Urban Areas, PIARC.
- Takumi NISHIMURA（分担執筆）（2023）：Sustainable Business Model of Bike Sharing using ICT Technologies, Evaluating Impacts of New Mobility in Urban and Peri-Urban Areas, PIARC.